



喜多方市内の商店などに掲げられている古代文字を表した看板

# 喜多方「漢字のまち」全国1位

## 古代文字の取り組み評価

### 観光庁と民間協力 観光地づくりイベント

観光庁と民間が協力して、新しい観光地をつくりだすイベント「タビカレ学園祭」が二日、東京ビッグサイトで開かれ、参加した全国七十八地域から、喜多方市の古代文字をテーマにした「漢字のまち」の取り組みが、来場者らの投票で総合部門トップに選ばれた。観光庁は昨年二月に全国の観光地づくりの企画を募集。イベントやインターネットのサ

イトなどでPR活動を続けていた。喜多方市は、ラーメンや蔵造りの街として知られるが、漢字の源となった古代文字をデザインし、店の看板に使う活動を展開している。その他の主な受賞は次の通り。

- ▽学生部門「伊賀 リアル忍者育成ツーリズム」(三重県伊賀地域)▽PR大賞「ロリカワツーリズム 小樽・札幌でロリカワしよう」(北海道小樽市、札幌市)▽キャンペーン・ナビ賞「感動・感謝・感激ノ石垣

島子育て道場」(沖縄県石垣市)▽Discover Japan賞「金沢プレミアム ほんものの工芸にふれる旅」(金沢市)▽ニコニコ町会議賞「運氣上昇のまち 成田」で叶(かな)う夢のおもてなしツアー」(千葉県成田市)▽特別カリキュラム「修了プレゼン」総合一位「酪農エリアを歩こう」(北根室ラン

津町) 本県からは、J3の福島ユナイテッドFCと連携した旅行商品企画した福島市の飯坂温泉旅館協同組合も出展した。

### 市民有志の会など設置

市長「風評払拭につなげる」

喜多方市では、市内の刻字家高橋政巳さんから市民有志による「喜多方を漢字のまちにする会」が平成二十三年一月から定期的に創作漢字コンテストを実施している。同会と県喜

多方建設事務所などがタイアップし、古代文字を表した看板を市中心部の商店街などに設置してきた。同会や喜多方観光協会などが昨年、喜多方観光まちづくり推進懇話会をつくり、「漢字のまち」をPRする活動を広めている。今回「タビカレ学園祭」でトップに選ばれたことについて山口信也市長は「喜多方は観光のまち。漢字や古代文字を生かすという全国的にも珍しい取り組みを今後も広め、東京電力福島第一原発事故の風評払拭(ふっしょく)にもつなげていきたい」と語った。